

## 2015年 第62回応用物理学会春季学術講演会

民谷 栄一\*

講演会企画運営委員長

第62回応用物理学会春季学術講演会が、2015年3月11日(水)から14日(土)までの4日間東海大学湘南キャンパスで開催されました。

今回の応用物理学会の総参加登録者数は6767名で、昨年春の学術講演会(青山大学)と同程度となりました。また、講演会の特別企画として、昨年ノーベル物理学賞を受賞された赤崎・天野・中村先生をお呼びし、「ノーベル物理学賞受賞記念講演」を開催しました。こちらは2700名もの聴衆を集める大変盛況なものとなりました。当講演は、東海大内の6教室にてライブ配信も行い、1500人がライブ配信を聴講しました。また、会員限定でUstreamを使用したライブ配信も行い、1500人がアクセスして視聴いたしました。

さて、今回の学術講演会では14の大分類と1つの合同セッションに、合計3827件の講演がプログラムされ、

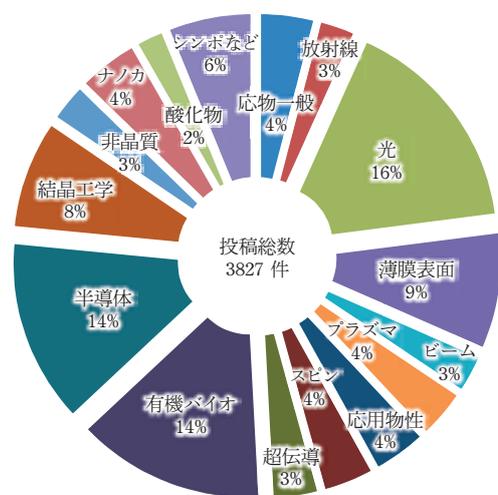


図1 2015年第62回応用物理学会春季学術講演会投稿論文分類(各大分類の値には若干の誤差があります)。

口頭発表:2887件、ポスター発表:940件が51の口頭発表会場とポスターセッション会場で行われました。大分類分科別に投稿件数を図1にまとめてみました。投稿数増加傾向、逆に減少傾向にある大分類などさまざまです。今回、半導体Aと半導体B統合後の最初の講演会でしたが、2014年秋と比べて11件の増加でした。

登壇者の所属をもとに投稿機関数を分類すると、大学など80%、企業7%、国・研究機関12%、その他1%で、前回秋と同程度でした。企業からの発表数のさらなる増加を期待したいところです。

講演会初日は一般講演、ポスター講演のほか、チュートリアル(ショートコース)企画から始まります。今回は講演会初日に3件(各3時間)が実施されました。チュートリアル講演は、当該分野を学び直してみようという方のほかに、新たにその分野に踏み込んでみようという方にも理解できるように基礎から応用までを講師の先生にお話いただいております。

聴講者数では、一番人気のセッションはノーベル物理学賞受賞記念講演とも関連の深い「15.4 III-V族窒化物結晶」の口頭セッションで、12日は250名もの聴講者数となりました。また、東工大の石井彰三氏をお迎えして開催された「プラズマエレクトロニクス分科内招待講

演」も230名の聴講者を集める大変盛況なものとなりました。その他の9つの口頭セッション(コードシェアセッション含まず)でも、100名を超える聴講者数となり、活発な質疑応答が交わされました。

また、同じテーマに対して関連する中分類が集まることで、複数の分類の観点から深い議論を行うことを目指して、2014年秋季講演会より、複数の中分類が同時に講演を実施する「コードシェアセッション」が設けられています。今春も実施され、「13.10化合物太陽電池」と「15.2II-VI族結晶および多元系結晶」のコードシェアセッションには、120名以上の方が聴講し、大盛況となりました。

さらに、今回は5つの特別シンポジウムと25のシンポジウム(うち分科企画シンポジウム23件)が開催されました。今年は例年の1.5倍程度の多くのシンポジウムが開催されました。いずれのシンポジウムも現在ホットな話題や重要となりつつある話題を取り上げているため、最新の話題を短時間に理解できることから、多くの方が参加します。応用物理学会講演会の特徴となっています。「微粒子合成法とその応用最前線」、「進化するパワー半導体…シリコンからワイドバンドギャップへ」、「スピントロニクスの将来ビジョン～スピントロニクスはこれから何をするのか?～」、「化合物薄膜とペロブスカイト太陽電池融合の可能性」の4つのシンポジウムでは、聴講者が200名を超す大変盛況な講演となりました。

\* 大阪大学 教授

2013年春の講演会から始まった“Poster Award”では、午前1回、午後2回実施されたポスターセッションにおいて、セッションごとに、優れたポスター講演を選出し、選出されたポスターをセッション終了後もポスター会場内の別のスペースで閲覧できるようにいたしました。そのスペースには、最終的に19件のポスターが並び、多くの参加者が足を止めていました。企業からの受賞も8件含まれています。Poster Awardの選出過程は以下のとおりです。①プログラム委員会（6月開催）で大分類ごとのプログラム編集委員による予稿審査・候補対象の絞り込み、②ポスターセッション開始直後30分間での評価者による最終候補選考の後、③本会理事、フェローおよび代議員による投票、投票結果を基に、④ポスターセッション終了直前に開催される最終選考会議で決定されます。多くの方々の協力により質の高いポスター発表を選出することができております。Poster Awardの設定を機に、ポスターセッションがより充実した情報交換の場

となることを期待しています。今回は、ノーベル賞記念講演会もあり、ポスター発表日時制約による発表件数の集中もあり、ポスター発表に十分なスペースが用意できなかった反省もあります。この点は、これから開催する国際会議場を利用した運営に期待しております。

前回講演会より、投票資格のある理事、フェロー、代議員の方を事前に投票者にアサインすることで（当日飛び入り投票も可能）投票者数が増加しました。ご協力いただきました方々には大変感謝いたしますとともに、次回の講演会でも是非とも投票にご協力くださいますようお願いいたします。

Poster Awardと同じく2013年春の講演会から始まった企画、“JSAP フォトコンテスト (Science As Art)”を展示会場にて実施しました。いずれも、芸術性を踏まえて、意外性、偶然性ありのすばらしいワンカットで、多くの参加者の注目を集めていました。この企画では、参加者の投票により、最優秀賞1件、優秀賞2件が選ばれました。

講演会の企画運営では、参加者の皆様へのサービス向上を意図して、ITの積極的な活用にも注力しております。例えば、プログラムをパソコンだけではなくスマートフォンやタブレットでも閲覧できるアプリを提供しています。2013年春の講演会からはTwitterやFacebookによる情報発信も試みております。

最後になりましたが、今回の講演会は、東海大学の教職員で構成された現地実行委員会による1年間にわたる準備とアルバイトの学生たちを含めての4日間と前日、前々日の現場での活躍のおかげで、全ての行事を滞りなく進めることができました。現地実行委員長の木村英樹先生（東海大学工学部・チャレンジセンター）、現地実行副委員長の庄善之先生（東海大学工学部）をはじめ、現地実行委員会の諸先生には厚く感謝申し上げます。また、今回ご協力いただいた関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。



**第76回 応用物理学会秋季学術講演会**

**JSAP EXPO Autumn 2015**

**2015年9月13日(日)~16日(水)@名古屋国際会議場**





応用物理の新時代 “おわり” から始まる。



**賛助会員・広告主: 230,000円 / 一般: 250,000円**

主催: 公益社団法人 応用物理学会 運営・管理: 株式会社 日刊工業コミュニケーションズ お問い合わせ: shirane@nikkanad.co.jp

